



## ミュンヘン便り

～ Seifenkistenrennen (ザイフェン・キステン・レネン) ～

残暑お見舞い申し上げます。

この原稿を書いているのは7月下旬。今月末から一週間、近くの教会で恒例の夏の青空市が開かれます。Auer Dultと呼ばれるこの青空市は、春、夏、秋と一年に3回、教会の広場で開かれ、ミュンヘン市民の間ではよく知られ、かつ楽しみにされている催し物です。オクトーバーフェストよりもはるかにこじんまりとしていますが、教会がそびえている広場に所狭しと様々な店が立ち並びます。お祭りですから、飲食店、子供用のメリーゴーランドやポニー乗り場などが開設されるのはもちろんのこと、台所用品・食器・刃物・掃除用具・絨毯・寝具・靴用品などの生活用品、香辛料・ジャム・様々な種類の酢・チーズなどの食品、服、様々なアンティークなどがひしめきます。生活用品は、普通の店ではあまり見かけないものを見つけることができます。例えば、私はそば殻風の枕を見つけて購入しました。中に入っている詰め物は、そば殻ではないものの、その類のもの、つまり植物の実で、通常の寝具用品店ではなかなか



見つけることができないのです。

夏のAuer Dultには、さらに特別な催し物が付随しています。それがSeifenkistenrennen。手作りの車で子供たちが自動車レースを繰り広げるのです。場所は、Auer Dultのすぐ脇の、坂になっている広い公道。普段はバスが走るこの大きな道も、この日は完全にブロックされ、Seifenkistenrennenのために準備されます。スタート地点は坂の上。ゴールは坂の下のAuer Dultの広場の横。手作りの車には、子供が乗るための場所とハンドルと車輪としつついていません。エンジンやブレーキはなし。なので、競争するといっても、坂を転がり落ちる速度を競うのです。

スタート地点の坂の上には、出走を待つ車がずらりと並んでいます(写真)。手作りですから、形、色、模様などは一つ一つ違います。

競争は次の通り。まず2台がスタート地点に並びます(写真)。ドライバーたる子供達は、ヘルメットを着用しています。用意ド





ン！で2台が転がり始めます。たいていの場合、不思議なことにどんどんと差がついていきます（写真）。良く転がる車とそうでない車とがあるのでしょね。距離は500m弱。沿道には人々が立ち並び、写真を撮ったり声援を送ったりしています。コース途中に設けられたテントでは、アナウンサー二人が実況を熱っぽくアナウンスしていて、雰囲気盛り上げています。車にはブレーキがついていないのですが、ゴール地点は平らなので、大概の場合は自然に止まります。止まらない場合に備え、ゴールを過ぎた所には藁のブロックが築かれています（写真）。

ゴール地点周辺では、レースを終えた車と運転者とが、のんびりと全車両の完走を待ちます。ここでは、各車に近づいて、それぞれの車両をじっくり観察することができます。車の性能もさることながら、各車のデザインにも製作者の思い入れが入っていることが伝わってきます。車の形は、いかにもレーシングカーさながらのとんがった形から、全くスピード感を感じさせない石鹸箱のごとき形まで様々。車両の外側の色や模様も多様です。星条旗を車体の横に付した車、ディズニーのキャラクターを付した車、きれいなユリの花を鼻につけた車など。

F1（フォーミュラ1）などとは全く違うほのぼののレースですが、見始めると結構楽し



いものです。あれよあれよという間に坂道を好調に転がり落ちる車を見ると、「よくできている！」と内心感心します。一方、引き離されたはるか後方の車の中で、無駄と知りつつも懸命な前傾姿勢でもって何とか車を加速しようとしているのを見ると、拍手と声援を送ります。子供たちが、おそらくはお父さんやお母さんと一緒に作ったのであろう手作りの車でこのような“公式の”レースに出走し、もしかするとまた来年ももっといい出来の車を目指して車づくりをするのかと思うと、何となくドイツのモノづくり魂の原点はこんなところにあるのかも？という気がしてきます。こういうモノづくりを経験した子供達から、偉大な発明家が生まれるかもしれません。今年も、Seifenkistenrennenを見に行くのが楽しみです。ちなみに、Seifenは石鹸、Kistenは箱、Rennenはレース、つまり「石鹸箱レース」が文字通りの翻訳です。

### 筆者紹介

稲積 朋子（いなづみ ともこ）

1994年弁理士試験合格。2012年ヨーロッパ弁理士試験合格。現在、GIP Europe Patentanwaltskanzlei所属。1997年、新樹グローバル・アイビー特許業務法人入所し、主に国内外の出願及び権利化業務を担当。2007年11月より、ミュンヘンの現地提携事務所に駐在。2009年1月、GIP Europe（GIPグループミュンヘンオフィス）設立。日本企業からのヨーロッパ出願・中間処理・異議申立・侵害品ウォッチングや、ヨーロッパ企業からの日本出願・中間処理業務を行う。趣味は、山登り、ほっとすること、寝ること、健康づくりに励むこと。